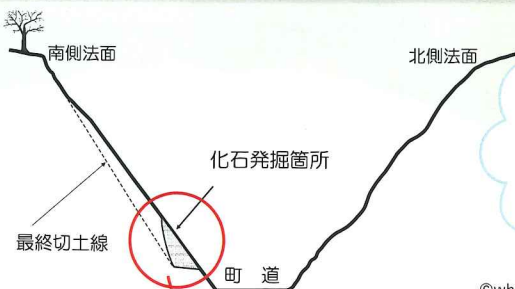


化石が埋もれていた様子



こんなふうに
土の中に
埋もれて
いたんだね。



©whale artist arata hitom×Mamurogawa Junior High School



大型の肋骨化石

発行／真室川町教育委員会

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町124-4
TEL 0233-62-2223/FAX 0233-62-2731

真室川町立歴史民俗資料館

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町233-1
TEL・FAX 0233-62-3511

E-mail siryokan@town.mamurogawa.yamagata.jp

協力／山形県立博物館

【関連企画展：「おかえりなさい マムロガワクジラ展」令和5年7月19日～9月24日】

イラストレーション・デザイン：佐藤明以
©2022 Sato Mei

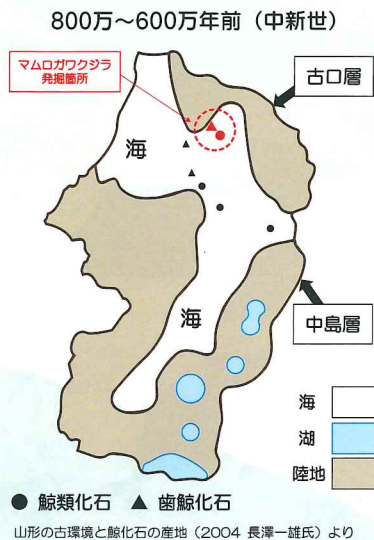


マムロガワクジラのふるさと
〜太古の化石ロマン〜

山形県真室川町
真室川町立歴史民俗資料館

海がない真室川町でなぜクジラなの？

はるか昔、日本列島はユーラシア大陸の一部でした。ところが始新世（5,600万年前～3,400万年前）頃から日本列島は徐々に大陸から離れ、中新世（2,300万年前～530万年前）に日本海が形成されてユーラシア大陸と分離したと考えられています。真室川町が位置する新庄盆地もその昔は海底だったため、山間地帯の本町でもクジラの化石が発見されました。



発掘された化石の一部



ヒゲクジラ類 椎骨 (町立歴史民俗資料館所蔵)



ナガスクジラ科
左下顎骨

大型ハクジラ類
とう骨



ナガスクジラ科
尺骨

「mammoth whale」って何？

「mammoth whale」とは1992～1994年に本町大沢（小川内地区）の道路工事現場で発見されたヒゲクジラのセミクジラ科とナガスクジラ科、ハクジラのマッコウクジラ科などの総称です。大きなもので体長約18mと推定され、クジラの化石では当時最大級だったといわれています。下顎骨（かがくこつ）で7個体、前上顎骨（ぜんじょうがくこつ）で6個体、肋骨（ろっこつ）で9個体が識別できるとされ、これほど多くの化石が1カ所から見つかったのは国内では異例といわれています。

化石群が発掘されたのは約600万年前（新生代新第三紀中新世）の地層とされており、発掘現場の化石の配列から、クジラが死んだ場所から、骨が海底の地滑りなどにより砂や泥と一緒に土石流となって流され、堆積したものと考えられています。

